

【第54回】四国地区
大学総合体育大会開催

7月4日(金)から6日(日)までの3日間、愛媛大学を当番大学として、25競技種目で熱戦が展開されました。

本学からは、21競技種目に404名の学生が出場しました。出場選手は日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、総合成績で男子が3位(参加18大学)、女子が6位(参加25大学)と、ともに入賞を果たしました。

また、種目別成績は男子が弓道、ヨット競技で2連覇し、自動車競技においても優勝を果たしました。さらに水泳競技、硬式庭球が2位、陸上競技、硬式野球、バレーボール、サッカー、体操競技、ラグビーで3位と健闘しました。女子は弓道で優勝し、ボート競技が2位、水泳競技が3位と健闘しました。



FD「合宿ワークショップ」開催

徳島大学では、6月7日(土)・8日(日)の2日間、徳島大学のFD理念の共有と新任教官の教授技術向上をねらいとしたFD「合宿ワークショップ」研修を国立淡路青年の家に於いて実施しました。研修には、新任教官(18人のほか、青野学長、川上副学長、各学部FDリーダー、堀内学務部長等46人が参加しました。



研修は、新任教官対象の「FD基礎プログラム」と各学部等FDリーダー対象の「FDリーダーワークショップ」で構成され、FD基礎プログラムでは、講義ワークショップ方式でシラバス作成、模擬授業及び授業研究会等を行いました。FDリーダーワークショップでは、徳島大学における「FDの当面の課題とその解決」等のテーマでワークショップを行いました。また、愛媛大学から佐藤浩章氏を講師に迎え、FDに関しての大学間交流を図るなど有意義な研修となりました。

第7回科学体験フェスティバルin徳島

工学部で、徳島県教育委員会、徳島市教育委員会等の後援及び(株)阿波銀行 四国電力(株)徳島支店の協賛を得て、8月2日(土)・3日(日)に「科学体験フェスティバルin徳島」が同学部構内で開催されました。フェスティバルは、「青少年の科学す



る心の育成と科学に対する関心を高め、地域社会の科学技術の振興に貢献する。」という目的のもとに第7回となる今回も「さわって、つくって、楽しい科学」をメインテーマに、同学部の各研究室をはじめ、同県内の小・中・高校各教育研究会理科部会や協賛企業等からのブースの出展とともに、図画コンクール展覧会も開催されました。今年の特別企画は、昨年好評であった「ロボットワールド」をさらに充実させ、県内工業高等学校6校の協力を得て実施し、子どもたちが、ロボットを操作して行う相撲、マイコンカー等に歓声を上げていました。参加者は、2日間で約1万5百人と大盛況でした。

医学部附属病院
中央診療棟竣工記念式典

6月27日に、医学部附属病院中央診療棟の竣工を記念して大塚講堂で、学内外から関係者約200人が出席し、竣工記念式典が挙行されました。式典ではまず、香川病院長が式辞を述べ、青野学長の挨拶が行われた後に平塚施設マネジメント部長より工事概要の報告が行われました。続いて文部科学省等関係者から、祝辞をいただきました。

記念式典終了後、中央診療棟玄関前でのテープカットに引き続き施設見学が行われました。その後東病棟



食堂において祝賀会が行われ、曾根学部長の挨拶に始まり中央診療棟の竣工を祝いました。

徳島大学インキュベーション施設完成記念式典祝賀会

実用化応用研究とその事業化、企業化育成を目的とした徳島大学インキュベーション施設がこの度完成し、7月29日(火)に竣工記念式典・祝賀会が開催されました。



寄附による「日亜ホール」で16時から開始され、三輪地域共同研究センター長らの式辞、学長挨拶に続き文部科学省、徳島県、日亜化学工業(株)から祝辞が述べられました。

式典に引き続き真新しいインキュベーション施設の見学が行われました。その後場所をかえ、記念祝賀会が催されました。

日亜化学工業(株)からの
10億円寄附で褒状、感謝状贈呈



工学部では、日亜化学工業(株)から研究助成金10億円の寄附を受け、たことに対して、7月4日に小泉純一郎内閣総理大臣名の褒状を伝達するとともに感謝状を贈呈しました。

青野学長と矢野工学部長らが同社を訪れ、青野学長が小川社長に褒状と感謝状を手渡ししました。

同学部では、これで2年連続して10億円の寄附をいただいたこととなり、平成13年度に「日亜化学工業教育研究助成基金」を設置、平成14年度には「日亜賞」を創設し、学業優秀

者を卒業・修了時に表彰を行うとともに、年間一千万円を上限として、①教育研究プロジェクト援助、②シンポジウム等の開催援助、③国際交流援助、④学部長指定事業に活用することとしています。

総合科学部3号館
及び工学部電気電子棟
改修記念式典

徳島大学総合科学部と工学部は、3号館及び電気電子棟の改修を記念して、式典祝賀会を6月20日に挙行しました。

大学では、国立大学等施設緊急整備5ヶ年計画に基づき施設環境を常に点検・評価し、戦略的なマネジメントにより、適切な施設を提供していく「ストック・プラン」を策定しています。総合科学部及び工学部が立地している南常三島団地では、施設長期計画の考え方に基つき、3号館、電気電子棟を改修しました。

改修記念式典では、来賓として多額の寄附をいただいた日亜化学工業(株)を迎え、青野学長から「開放的な空間が増えるとともに、教官と学生の距離が近くなり、新しい教育の形ができると期待している。」との挨拶がありました。



徳島県内高等学校との
連絡会議開催

7月23日(水)に「徳島県内高等学校と徳島大学との連絡協議会」が工学部共通講義棟大会議室で開催されました。この協議会は、高校教育と大学教育の現状及び改革の状況について相互理解を深め、大学においては、高校側からの提言等を教育の改善や大学改革に反映することを目的として平成10年度から毎年実施しており、本年度で6回目となります。



学内からは、川上副学長、各学部長、

各学部教務委員長、大学開放実践センター長、全学共通教育センター長及び高度情報化基盤センター長等が、県内35高等学校からは学校長等が出席し、「高校教育と大学教育の良好な接続について——高等学校と大学の相互理解の推進——」をテーマに、活発な意見交換が行われ、具体的課題の解決方策が提言されるなど、多岐にわたる協議会となりました。

徳島大学オープンキャンパス

受験生を対象とし、大学の公開、情報提供等を目的とした学部説明会が8月4日(月)、各学部において開催され、昨年より約3000人多い総数1,761人の高校生、保護者、高校教諭が参加しました。

各学部とも、概要説明、入学試験案内、施設見学をはじめとして、公開授業、体験入学、大学院生等との懇談会などを実施し多彩な内容となりました。

同日午前、医学部保健学科看護学専攻では、看護師、助産師、保健師の仕事を知ってもらうため、看護に興味のある生徒を対象に、看護実習を中心とした体験入学を実施しました。



高校生のための
体験「大学院」

徳島大学大学院工学研究科では、8月24日(日)、25日(月)の2日間にわたり、高校生のための体験「大学院」を開催し、2日間で総数136人が参加しました。工学研究科のうち9専攻が17プログラムを担当し、2日間とも同じ内容で行われるため、参加者の中には、興味を抱いた2つのプログラムを体験した生徒もいました。

また、本行事は、単なる研究内容の紹介ではなく、現在本学の大学院で行われている先端研究の現場に実際に参加し、科学・技術の面白さを知り、理工系分野の学習への興味を深めてもらうというもので、高校生たちは初めて聞く専門用語に戸惑いながらも、現代社会の課題等を取り上げたプログラムに熱心に取り組んでいました。

